

来月11日 長田・大国公園→御蔵北公園近く

こうべiウォーク

8年ぶりに復活

阪神大震災から14年になる神戸の町を歩いて、温かい心をつかち合いませんか。震災で壊滅的な被害を受けた神戸市長田区を、復興を支えたボランティアについて考えながら歩く「こうべiウォーク09」が来月1月11日、8年ぶりに復活する。参加者の寄付で震災復興などにあたるボランティア団体に提供するエニークを試みた。

【辻加奈子、中尾卓英】



大正筋商店街を歩いて歩く「こうべiウォーク実行委員会」のメンバー

＝神戸市東田区で

温かい心をつかち合いませんか

iウォークは99年、アメリカのエイズウォークを参考に始まった。初回は約35000人が参加、260万円が寄せられた。異なりが01年から再開し毎年数千人が参加する震災メモリアルウォークの原型となったが、協賛企業や団体が減り同様の行事が増えたことなどから3年で終了。その後、1月17日「近い日曜日」に自主的に続けてきた。当日は午前9時半〜10時半、同区本庄町2の大国公園を随時スタートもできる。今月中旬、コースを下見した神戸まちづくり研究所事務局長、野崎隆一さん(65)は「10年前に復興した地図を配るのに歩く。ゴール付近では豚汁などの炊き出しもある。」と話す。問い合わせは、同研究所(078・230・8511)へ。



日本初の「ボランティア」活動賀川豊彦ゆかりの地も「こうべiウォーク」は17日に

一方、生協「こうべ」の「こうべiウォーク」(神戸市東灘区)も1月17日、初の「震災」を実施する。日本の生協労働組合・信用金庫などの祖で、関東大震災(1923年)でも日本初の「ボランティア」活動を行った賀川豊彦が神戸市中央区でキリスト教伝道を開始して100年に当た

るのに合わせて企画した。コースは、県と神戸市などの追悼行事会場になる神戸市中央区加納町の記念事業神戸プロジェクト委員会・顧問の西義人さんらが案内、ポトラ途中にある「死線を越え」に至る約2.5km。コースは、最

「こうべiウォーク」は、最底辺の人々を救済するため開設した一階建て「天」(412・3771)へ。